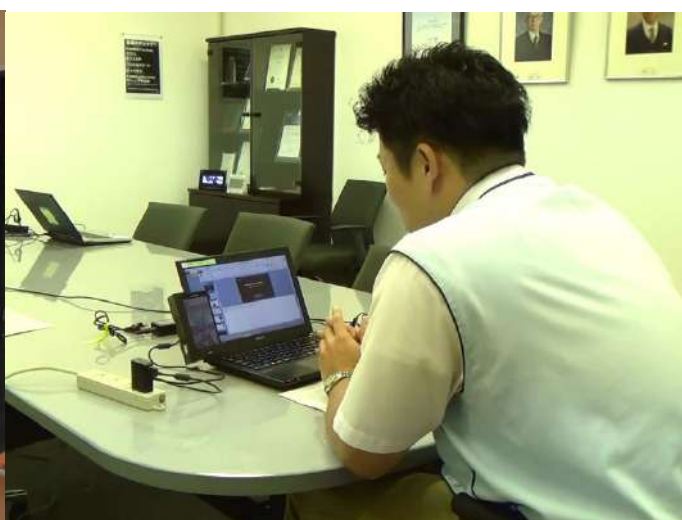
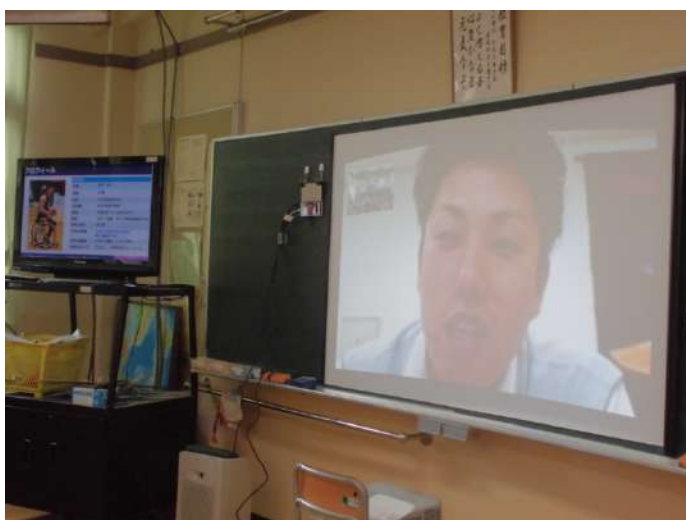


■ インターネットを活用した講義に挑戦

6月11日(水) 午前 東京都の小学校5年生の教室とソニー・太陽の応接室をインターネットでつなげ、同校の総合的な学習の時間（人権学習）のテーマ「障がい者スポーツのスターたちから学ぶ」の講義を行うという新たな試みにチャレンジしました。

講師は、車いすバスケットボールの選手でもある製造部 デバイス製造課 DEV 係長の本田昌士さんが務め、自身の生い立ちや車いすバスケットを始めたきっかけ、子どもたちに伝えたいことなどを発信しました。また、子どもたちからは、事前に学習していた障がい者スポーツに関することや本田さんの生活、困っていることなどに関する多くの質問が投げかけられ、和やかな雰囲気の中、東京一大分間の距離を全く感じないタイムリーなやり取りが行われました。

中には、ドキッとするような質問もありましたが、本田さんは、率直に、子どもたちにも分かり易い言葉で丁寧に答えていた姿が印象的でした。



同小学校では、「総合的な学習の時間」の中で人権に関するカリキュラムを組んでおり、今年度は障がい者スポーツを体験したり、調べたりする活動を通して、命を大切に生きていく気持ちやあきらめないで努力を続ける気持ちなどを養い、よりよく生きていこうとする意欲を高めることにつなげたいとしています。

講義終了後、担当の先生より頂いたコメントの一部を紹介します。

本日の講義ありがとうございました。

子供が引き付けられる講義構成で、とても分かりやすく講義をして頂きました。子供の質問にも適宜対応して頂き、子供の学びが広がり、深まった学習になりました。

とても貴重な体験をさせて頂きました。ありがとうございます。

今回の中継講義は、初めての試みで、本校の教育活動に新しい方法を取り入れることができました。

これも、貴皆様のご協力の賜です。ありがとうございました。

今日から、学びを新聞にまとめる活動に取り掛かりました。さらに、6月20日にある「人権メッセージ発表会」で、「みんなに伝えたい！障がい者スポーツのスターたち！」をテーマとして、発表に取り組んでいきます。

今回の学習の学びをこれからの日常生活に生かせるように、継続性をもって進めていきたいと思っております。

ご多忙の折、本校の教育活動にご尽力頂きまして、心より感謝申し上げます。
